

研究課題名：全国がんセンター協議会 生存率調査へのデータ提供に関する研究

1. 研究の対象

2004年1月から当院でがんの診療を受けられた方

2. 研究目的・方法

全国がんセンター協議会（通称「全がん協」）は、わが国における中核的ながん専門医療施設ががんの予防、診断および治療等の向上に資することを旨として1973年（昭和48年）に設立されました。現在では全国のがん専門医療機関32施設が加盟するネットワークとして活動しています。全がん協の目的の第一に「がん予防、診断および治療等の向上に必要な諸問題の調査および研究」が掲げられており、加盟施設における予後調査を基にした生存率の公表はその重要な活動として位置づけられています。

2004～2007年に診断された約14万件の5年生存率を部位別・施設別に集計したことを端緒とし、1999～2002年の診断症例約3万5千件について初めて10年生存率を算出し、その集計結果については、全がん協のホームページにおいて、全施設生存率及び部位別・施設別生存率として公表されており、広く閲覧され、また、引用されてきたところです。

当院では、その活動の当初より、参加し、データを提供してきました。国が定めた「院内がん登録の実施に係る指針（平成27年12月15日厚生労働省告示第470号）」の規定によれば、「病院において、当該病院において診療が行われたがんの罹患、診療、転帰等の状況を適確に把握し、治療の結果等を評価すること及び他の病院における評価と比較することにより、がん医療の質の向上が図られること」とされており、また、「病院や国立がん研究センターにおいて、院内がん情報等を適切に公表することにより、がん患者及びその家族等の医療機関の選択等に資すること」とされていることから、全がん協へのデータ提供を行い、その結果が公表されることは、がん専門病院であり、国が指定するがん診療連携拠点病院である当院にとって、重要な活動です。本研究では、これを研究として位置付け、安全な方法で行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：初診日、診断日、診断施設、発見経緯、診断名、ステージ、進展度、組織診断名、診断根拠、各種の治療の有無、最終生存確認日、死亡日 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さん
の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先
までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター 治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 974)

研究責任者：

宮城県立がんセンター 研究所がん・疫学予防研究部
宮城県立がんセンター 院内がん登録室
金村 政輝
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151 (代表) (内線 296)